# 各種基礎調査結果の要点

## 基礎調査(第2回審議会資料1)

#### 第4次計画策定後できたこと

小中学生・高校生の医療費無償化(県内初)

小中学校給食費を無償化(中学校は県内初) 豊郷小学校旧校舎群 登録有形文化財

とよさとプリンの特産品化

上水道事業創設(公営企業法適用)

湖東定住自立圏形成協定の締結

# 人口等の見通し

2015 年度 7,422 人⇒2025 年度 7,365 人 高齢化率 2015 年度 26.4%⇒2025 年度 35% 土地利用は成熟

# まちをとりまく動き

少子高齢化・人口減少社会の到来

グローバル社会の変化

国際社会のなかでの交流の活性化

#### 暮らしをとりまく変化

巨大災害の切迫、防災・減災対策の強化

ICTの進化等技術革新の進展

#### まちづくりをとりまく変化

地方創生の推進

住民参加と協働の意識の定着

行財政改革の推進

# 人口ビジョンからみた現状(資料1-A)

#### 転入•転出状況

進学・就職時期に、転出超過

(彦根市、東近江市、愛荘町ほか)

ファミリー層(40歳以上)以降、転入超過

退職後、転入超過

# 子どもと高齢者

合計特殊出生率 1.76 (県内第3位)

子どものいる世帯の7割は核家族高齢者のいる世帯は44%

#### 雇用環境

昼夜間人口比率は 0.97

雇用が多いのは、製造業、卸売・小売業、医療・福祉

# 住民アンケート結果(第2回審議会資料1)

#### 定住志向

75%が定住志向

10歳代、20歳代では15%が「町外へ出たい」

# 暮らしやすさ

自然環境が豊か

買い物が便利

医療、福祉が充実

#### 暮らしにくさ

交通の便が悪い

買い物をする店が遠い(20歳代~30歳代前半) 仕事がない

# 地域とのつきあい

50歳代以上では地域とのつながりが強いが、40歳代以下ではやや弱い

参加してみたい住民活動は、環境美化、イベント・ 祭り、スポーツ・文化活動

#### 人口減少社会へ向けて重要だと思う施策

子育て世代への税金優遇や助成、福祉医療費の助成、保育所等子育て支援の充実、高齢者福祉の充実2世帯住宅、3世代同居などへの助成、空き家バンク、彦根市や近隣町との施策連携

#### 団体アンケート結果(資料1-B)

団体として今後取り組みたい地域貢献

空家・空き店舗の活用

地域資源の活用

SNS によるまちの PR

現在の取り組みの継続・充実

子どもたちの交通安全指導

小中学校、保育園・幼稚園の授業への協力

子育てに不安をもつ家族への支援

O~2 歳児家庭の「子育て広場」への参加促進

#### 第4次計画の検証(第2回審議会資料1)

【目標達成した成果指標】

経標】 【改善が必要な成果指標】 第1章 安全・快適な暮らしをつくろう

図書館の貸出冊数の増加

水洗化率の向上

防災行政無線の更新

高齢者や障害者の見守り体制の構築

第2章 豊かに育つ暮らしをつくろう

子育て支援センターの充実

要保護児童対策地域協議会の充実ゲストティーチャーの充実

江州音頭保存会の人数

第3章 いきいき安心の暮らしをつくろう

障害者への支援体制推進

シルバー人材センターに登録する人の増加

各種サークルに参加する高齢者の増加

第4章 互いにつながる地域社会をつくろう

各種審議会委員会における女性の割合

ALT 等を活用した社会教育事業における国際理解の

ための学習機会の開催

集落営農の法人化、

坊ちゃんかぼちゃ生産の増加 商品販売額の増加

観光入込客数の増加

町内従業率の向上

第6章 まちを支える基盤を築こう

道路整備計画の策定歩道の設置

第7章 未来のための環境をまもろう

宇曽川美化活動への参加促進

第8章 計画推進のために

ホームページへのアクセス数の増加

定員適正化の推進 経常収支比率の改善

# ワークショップから(資料1-C、D)

#### 地域福祉住民ワークショップ(資料1-C)

気になるところ

キャッチフレーズ

子育て世代:

シニア世代:

郷づくり

若者世代:

空家が増えてきた

道路が危ない/公共交通が不便

子どもが遊べる公園が少ない

近所付き合いや地域への参加が減ってきた

あったかホームを字ごとにつくって連携

(気持ちが)若者パワーがっちりタウン

若者も参加・活躍し、各世代が活気ある豊かな

# 良いところ

コンパクトなまち

生活が便利

子育てしやすいまち

地域のつながりがよい

若者が受け入れてもらいやすいまち

医療・教育・福祉環境がよい

#### 今後の取り組み

まちの魅力の PR

安全な道路交通網の整備

公園の整備

好きなところ

空家の活用

地域支えあいの拠点と仕組みづくり

若者が活動しやすい拠点と仕組みづくり

団体間のつながりとリーダーの育成

声のていねいなキャッチボール

新庁舎で行政サービス向上

# 中学生ワークショップ(資料1-D)

意外と店が多く、緑豊かで、歴史もある。 豊郷小学校の旧校舎が自慢。

病院があるし、高校生まで医療費が無料だ。

住民がみんなフレンドリーだ。

学校がきれいだし、給食も無料だし、最高に楽しい。

# \_\_\_ 嫌いなところ \_\_\_ 夜、不良が

夜**、**不良がうるさい。 ゴミが多い。

# 変わってほしいところ

電車(JR)や大きい道路がほしい。

知名度をあげたい。

野球場、映画館、遊園地、ホテル、プール、スポーツ店、ピザ屋、大型ショッピングセンターがほしい。

温泉や、銀座、原宿、USJがほしい。

給食をおいしくしてほしい。 学校のトイレや体育館の対策をしてほしい。

## 将来どんなまちにしたいか

娯楽や買い物の施設がいろいろあって、JRが通り、 スポーツがさかんで、知名度があがっている。

みんなが笑顔で、ごみのない、ヤンキーもいないきれいな町、いろいろな店があって便利な町になって、 学校もさらにきれいになっている。 <u>よ</u>るも安全、<u>い</u>べんとたくさん、<u>ま</u>ごころたっぷり、 <u>ち</u>めいどアップ!

#### -牛害春

~ おじいちゃん、おばあちゃんも!! ~